

# The 2 Chome Times 2024年 5月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO312号.

2024年・5月・25日

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス 5月号

編集：企画・商業振興部、編集長：井上晶雄 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

## ★隈 研吾シンポジウムが7月に催行されますよ！

今を時めく建築家と言えば隈 研吾氏ですが、ご存じの様に隈氏の作品となる建築物は山の手線の高輪ゲ



ートウェイ駅をはじめ枚挙に暇がありません。タイムズ4月号の記事の中でも取り上げましたが「なぜ、隈研吾さんなのか」、この大きな疑問への答えが7月13日に中央区文化センターで行われる隈氏の講演会及びシンポジウムをご覧になればわかるはずです。大変お忙しい隈氏のスケジュールですが、今回2丁目目大事にしている「人との繋がり」もあり、コロナ禍前に予定していたこのシンポジウムがやっと実現する事になりました。5月12日に放映された「情熱大陸」という番組でも隈氏が取り上げられており世界的にも高い評価を得ておられ、大げさではなく秒単位でのお忙しいスケジュールの中で時間を割いて神戸にお越しになられます。この講演会・シンポジウム

をご覧になりたい方は、なかなか厳しい競争率になりそうですが、往復ハガキで参加募集を掛けているので、2丁目のホームページを参考になさって応募してください。ホームページの URL はこのタイムズのトップにも記されていますが、「<http://www.centergai2.com>」となっています。この機会を是非お見逃しなく！

## ★隈研吾氏、姫路に来たる！ 書寫山圓教寺×隈研吾 展覧会

隈氏の講演会・シンポジウムの予定をご紹介致しましたが、その隈研吾氏が姫路のアートプロジェクトに関わっておられ、ご本人による解説の機会があると聞き、現地にうかがいました。姫路での企画は、西の比叡山と呼ばれる書寫山圓教寺と姫路市立美術館の共催で「生き延びるためのデザインワーク：これからの用の美」というタイトルで開催されます。隈さんからは「姫路は建築の聖地。ヨーロッパのいかつい城と違い、小さな屋根が集まった姫路城はヒューマンスケール（人間サイズ）のやさしさがある」と姫路の印象が語られました。今回の展示では、姫路城にも使われている和釘を用いたパビリオン「くぎくも」が、圓教寺の三之堂前広場に設置されます。柔らかい和釘は、変化が早く柔軟性が求められる今の時代に、昔ながらの伝統的創意工夫のヒントを与えてくれている気がします。今回、直接お考えに触れ、7月に直接 隈研吾さんの話を聞くことができるのがますます楽しみになりました！圓教寺の歴史ある建築と隈さんの新しい作品と一緒に楽しめる展示、是非姫路へ足を運んでみてください。



作品を解説する隈研吾氏

圓教寺×隈研吾 展覧会 展示期間：2024年6月16日～12月1日 会場：書寫山圓教寺三之堂前広場

詳しくは「姫路市立美術館 HP」 <https://www.city.himeji.lg.jp/art/>

## ★ドンク本店ビル建て替え工事

私達の仲間である街のシンボリックな存在でもあるドンクさんの本社ビルがいよいよ建て替え工事に入ることになりました。街の憩いの場でもあり、神戸で、そして全国で愛されているドンクさんです。その創業が1905年（明治38年）で、現在と同じ場所での旧店舗は1951年（昭和26年）にオープンし、現

在の店舗での営業は1983年（昭和58年）からであり、旧店舗からですと73年間に亘って街の皆様  
にパンの魅力を届けてきたこととなります。そのドンクさんが東隣へ店舗の幅  
を拡張して、さらに魅力を高めて近い将来リオープンします。工事が始まるの  
が6月なのですが、現時点ではまだハッキリとした開始日は分かりません。そし  
て工事期間は2年余りを予定しており、その間の仮店での営業も決まっており、  
トアロードのすぐ南側に近日中にオープンされる予定です。



### ★JR 三ノ宮駅ビルトークセッション トップが語る JR 新駅ビル計画 と三宮の未来

2029年に開業予定のJR三ノ宮駅の駅ビルの起工式に合わせて、3月6日に関係者トップ3名による座談  
会が開催されました。JR西日本の長谷川一明社長、久元喜造神戸市長、UR都市再生機構の中島正弘理事  
長の3名とコーディネーターとして神戸芸術工科大学の長濱伸貴教授が登壇。長谷川社長による新しい駅  
ビルについての説明の後、長濱氏から3名それぞれに質問していく形で進められました。新聞報道では、  
30階建ての高層ビルができるということがクローズアップされていますが、座談会ではむしろ、**神戸・三  
宮に集まる人々が街を回遊し、人と人が交流する起点、拠点を目指し、情報発信  
や街との結びつきを強化していく**といった新駅ビルの目的が多く語られていま  
した。久元市長は「(新しい三ノ宮駅が)京阪神全体の玄関口として機能し、人  
間中心のまちづくりへの貢献に期待する」とし、URに対しては「東京渋谷の再  
開発に関わったノウハウを活かしてほしい」と話していました。さらに「エネル  
ギーの面でも未来志向で考えたい」とも。街創り協議会で話題になっている梶原  
町の小水力発電や弓削牧場のメタンガス活用などにも繋がりそうな話でした。  
開業は5年後。長いようであつという間です！

トップが語る JR新駅ビル計画と三宮の未来



### ★第15回 Thanks 神戸・おきなわドゥングワの会 深まる交流

「KOBE 夢・未来号・沖縄」プロジェクトにご協力いただいている沖縄関係者の皆様へ感謝の意を込めた「第  
15回 Thanks 神戸・おきなわドゥングワの会」が4月9日、パシ  
フィックホテル沖縄で開催され、神戸・沖縄ともに100人を超える  
計233人が参加し、親睦を深めました。交流の中では、神戸沖縄の  
ゆかりの品々を贈り合う「お楽しみ抽選会」や、「ハワイアンフラ  
KOHANA」「創作エイサー那覇太鼓」による演舞、「うたばす」による  
ライブコンサートなど盛りだくさんの内容で、4年ぶりの開催とな  
った昨年に続き、盛況な宴となりました。翌日10日～11日には沖  
縄北部の本部町を観光するツアーが開催され、1月に夢・未来号で



子供さん達が桜の木を植樹した八重岳桜の森公園をはじめ、重要港湾に指定されている運天港、常時2,000  
株以上のランを展示している熱帯ドリームセンターなどに立ち寄り、充実した時間を過ごすことができました。  
3月9日に開催された兵庫沖縄交流シンポジウムに続き、神戸と沖縄の交流、今後の更なる発展を  
期待させる楽しい旅となりました。参加された関係者の皆様に篤くお礼申し上げます。

### ★編集後記

記事の中でも触れましたが、ドンクさんが50年余りの時を経て新店舗を建設されます。そして1970  
年に竣工したサンプラザは建築後今年で54年目になります。1995年に阪神大震災があり、この三宮  
はそれも乗り越えて来ましたが、いよいよ「そういう時期」を迎えているのは間違いありません。JR三ノ  
宮駅ビルにせよ、今回の隈氏の講演・シンポジウムにせよ、少しずつ時代の流れが足音を立てて進んでい  
ます。私達は決してその流れに押し流されるのではなく、しっかりと自身で船の舵  
を取り、先へ進まねばなりません。そんな事を感じたドンクさんの新築ビル建設計  
画でした。

美しい街 共に歩む ビルメンテナンス

つるかめ管財株式会社 078-371-3589

